

# 小規模企業景気動向調査

[平成23年4月期調査]

～東日本大震災の影響が続き、全体的に厳しさを増した小規模企業景況～

2011年5月26日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…東日本大震災の影響が続き、全体的に厳しさを増した小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲55.1と前月調査に比べ4.8pt低下した。サービス業の売上額についてはやや改善のあるものの、その他の業種では依然として東日本大震災の影響が大きく、引き続き、大変厳しいものとなった。

## <製造業> ◇…震災による影響により明暗が分かれる製造業…◇

製造業DIは、▲49.9と前月比で4.4ptと2月連続の悪化となった。東日本大震災により生じた原材料不足や価格の高騰、また、大手工場の操業停止等の影響が出ている。しかし、この震災の影響により飲料水製造業や夏季の電力需要を見越したリチウム電池製造業などの一部の業種は好調であり、持ち直しを見せているところもある。

## <建設業> ◇…資材入手困難が深刻さを増し、苦しむ建設業…◇

建設業DIは、▲69.4と16.9ptの悪化となっている。震災復興需要はあるものの、全国的にコンパネ・ベニア・断熱材・石膏ボード等の建築資材、キッチン・洗面化粧台・便器等の住宅資材の不足や値上がりが顕著で、一部地域では建設用重機のリースができない状況である。それに伴い、需要はあっても工事の受注できない、または、中断・延期を余儀なくされており、資金繰りは厳しい。

## <小売業> ◇…震災に伴う影響が引き続き見られる小売業…◇

小売業のDIは、▲54.2と前月に比べ4.0ptの悪化となった。タバコ・乳製品・納豆・飲料水、乾電池、等商品の入荷ができず、売り上げ不振の要因となっている。また、寒さと買い控えの影響春物衣料も動きが鈍い状態である。自動車関連では新車の納入が少なく大幅な落ち込みに対し、中古車の価格が跳ね上がっている。

先月に比べ、消費者の買占め買い控えの動きは減少傾向にあり、平常時に戻りつつあるものの、全体的な消費低迷傾向には変化がなく、大変厳しい状況が続いており、更なる売上の低下を危惧する声も多い。

## <サービス業> ◇…若干持ち直したものの、観光業を中心に苦しむサービス業…◇

サービス業DIは、▲47.1と6.1ptの改善となった。先月は震災及び自粛ムードや計画停電などの影響で、大幅に悪化したが、今月は入学式等のイベントや自粛ムードの緩和により、理美容業・飲食業等に改善の兆しが見られた。しかし、観光業については、自粛ムードや風評被害等の影響で、キャンセルが相次ぎ、引き続き厳しい状況にあり、見通しは暗い。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲45.3	▲53.1	▲7.8	▲43.6	▲48.1	▲4.5	▲39.3	▲59.2	▲19.9
採算	▲45.1	▲51.3	▲6.2	▲43.6	▲47.7	▲4.1	▲47.5	▲66.9	▲19.4
資金繰り	▲42.5	▲47.4	▲4.9	▲40.9	▲43.3	▲2.4	▲47.8	▲64.1	▲16.3
業況	▲50.3	▲55.1	▲4.8	▲45.5	▲49.9	▲4.4	▲52.5	▲69.4	▲16.9

業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲44.9	▲52.0	▲7.1	▲53.4	▲53.0	0.4
採算	▲43.7	▲48.1	▲4.4	▲45.7	▲42.3	3.4
資金繰り	▲40.8	▲43.7	▲2.9	▲40.7	▲38.6	2.1
業況	▲50.2	▲54.2	▲4.0	▲53.2	▲47.1	6.1

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒1050004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:堀内 雅史